

2019年10月1日
日本電気硝子株式会社

LTCC 事業の合併会社の設立に関するお知らせ

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市、社長：松本元春）は、このほど、株式会社ヨコオと LTCC（Low Temperature Co-fired Ceramics：低温同時焼成セラミックス）（※1）の製造、販売を目的とした合併会社「LTCC マテリアルズ株式会社」を設立しましたのでお知らせします。

LTCC 製品は、優れた電気特性（低誘電・低抵抗など）に加え、多層化・高密度化が実現できることなどが評価され、LED 用パッケージや通信モジュール、半導体検査用治具であるプローブカード（※2）用基板など、自動車、通信機器、半導体プロセスといった幅広い分野で用いられ、今後、市場の成長が見込める分野です。

当社は、これまで高品質の LTCC 用粉末ガラスおよびグリーンシート（※3）を市場に供給してきましたが、長年培ってきた無機材料開発技術・生産プロセス技術と、株式会社ヨコオの配線設計技術・LTCC 生産加工技術・精密焼成技術を融合させることにより、素材から LTCC 製品に至る一貫生産体制を実現できます。より高精細、高密度配線の LTCC 製品の供給を通じて、拡大する世界市場に対応してまいります。

当社は、中期経営計画「EGP2021」の重点項目の一つとして「戦略的投資」を掲げております。本合併会社の設立は、当社の光・電子デバイス事業の拡大を、M&A により加速しようとするものです。

合併会社の概要

社名： LTCC マテリアルズ株式会社（LTCC Materials Co., Ltd.）
所在地： 群馬県富岡市
合併当事者： 当社（出資比率 70%）、株式会社ヨコオ（出資比率 30%）
合併会社設立日： 2019年10月1日
代表者： 社長 坂本明彦
資本金： 3.15 億円

<株式会社ヨコオの概要>

設立： 1951年
資本金： 39 億円（2019年3月末現在）
本社所在地： 東京都北区滝野川七丁目5番11号
事業内容： 車載通信機器、回路検査用コネクタ、無線通信機器の製造、販売

以上

(注) 1. LTCC :

Low Temperature Co-fired Ceramics : 低温同時焼成セラミックス。電気抵抗の低い銀または銅を導体として使用したセラミックス多層回路基板の一種。銀や銅は融点が低く、一般的なセラミックスの焼成温度（1300℃前後）では使用できない。そこで、低温（約 900℃）で焼成できるようにセラミック材料に特殊なガラスを混ぜて作られる多層回路基板が必要になる。セラミックスの耐熱性を利用した自動車用や多層・高密度化による小型・高性能が求められる通信機器分野に多く使用されている。

2. プローブカード :

Probe Card : 半導体検査工程において、製作された IC や LSI の電気特性検査に使用される治具。

3. グリーンシート :

ガラス粉末とセラミックス粉末とを有機バインダーを使ってシート状に成形した未焼結品。LTCC 製品はこのシートを多層化・焼成することによって作られる。